

中山間地域における既存施設の通常業務を超えた活動について —縮減化社会におけるホスピス型地域づくりに関する研究 (その1)—

正会員 ○王 詩韻*
同 谷口 弘和*
同 奥本 裕美子**
同 横山 俊祐***
同 徳尾野 徹****

ホスピス型地 業務を越えた活動 質的転換
域づくり

1. 研究の背景と目的

過疎地域では、生産力や行政・福祉サービスの低下、地域活動の内容・量の縮減など、様々な問題が発生し、結果的にコミュニティの維持や日常生活に大きな支障を来している。それに対して、人口や生産の回復など往時の隆盛を取り戻すような地域の再生・活性化を目指す事業やボランティアな取り組みが多様に展開されているが、実効性に乏しいと思われる。

制度や事業などに依拠して右肩上がりを目指す活性化方策から離れて、人口・生産などの量的な縮減化の過程に沿いながらも、地域・住民が主体的・自律的に活動や生活の質的な転換を図り、生活の豊かさを獲得することを「ホスピス型」の地域づくりと定義する。本研究は、「ホスピス型」の地域づくりの実態と生成のメカニズムを把握し、地域づくりにおける可能性や有用性を明らかにすることを目的とする。本稿では「ホスピス型」地域づくりの実例を、主に地域施設や地域サービスを対象にして収集・分析し、その生成要因や地域にとっての有用性の検証を行う。

2. 調査概要

人口規模、立地、産業などの異なる奈良、和歌山県内の過疎地域(表1)7地域を対象に、地域住民や自治会の代表者、行政や地域施設の関係者に対し、過疎化に伴う日常生活や地域生活、業務内容の変化と実態についてのヒアリング調査を行った。

3. 過疎地域の縮減化による業務の質的転換

地域施設や福祉サービスにおいて、縮減化を反映して通常業務を超えた活動の展開がなされ、質的な転換が果たされた事例を取り上げ、地域にとっての新たな意義を解明する。

1) 児童と駐在の新たな関係

小学校の児童数が極端に減少している。放課後の遊び相

手のいなくなった児童が、遊び環境を求めて駐在所を訪ねるようになり、駐在と仲良くなる<1>。駐在は地域を守る役割を担うものの、過疎地域で犯罪が少なく防犯業務の比重は軽くなっている。そのために子供の遊び相手になり、一緒に野球をする<2><3>。駐在所は放課後の子どもの安全な遊び場、居場所となるなど、新たな遊びの場と相手が獲得される<4><5>。

その関係が発展し、両者の交流の場が駐在所からアミューズメント施設やスポーツセンターにまで広がる<6><7>。さらに、児童の誘いに応じて、駐在が小学校の学習発表会などのイベントに参加することで、イベントが活気を帯び、駐在にとっても児童とのパーソナルな関係を手掛かりにして地域と同化してその一員となり、地域と一層密に繋がる<8><9>。

2) 保健師の取り組み

地域人口が少ないが故に、保健師が住民一人ひとりを認知し、直接働きかけることによって、きめの細かいサービスが提供されている。

一つには、一般業務に沿いつつもその内容を拡充する取り組みである。救急時には自ら現場に赴いて状態を確認し病院を指示する<10>、固苦しい形式的なものではなく、折り紙などを交えた楽しい高齢者向けの健康教室を開き<11>、住民の出会いとお喋りの場になっている<12>などである。健康教室がない時でも住民は自発的に集まり、娯楽の場が生まれている<18><19>。二つ目は、業務の質を高めるような取り組みである。全住民を戸別訪問して健康相談を受ける<13>、入院先からの電話に気軽に対応する<14>、休日でも気になる入院患者を見舞うなど<15>である。三つ目は、通常業務を超えた取り組みである。住民の金銭管理の手伝い<16>や、趣味の付き合い<17>など、私的領域に踏み込んだ取り組みである。

地域住民一人ひとりへのきめ細かい親身になった対応によって質の高い保健活動が展開される。さらに、一人一人を大切にすることからパーソナルな関係が築かれ、結果的に地域住民からの信頼感や仲間意識が高まり、健康面だけでなく、生活全般を対象にした総合的なケアが実現している。

対象地域	人口(人)	高齢化率(%)
和歌山県田辺市(旧龍神村)	3719	39.3
奈良県吉野郡天川村	1791	41.9
奈良県吉野郡下北山村	1039	43.2
奈良県吉野郡黒滝村	840	43.0
和歌山県東牟婁郡北山村	504	48.0
奈良県吉野郡上北山村	670	43.9
和歌山県伊都郡かつらぎ町花園	451	46.8

表1 各集落人口(H.22 国勢調査)

A Study on Community Improvement of the Hospice Type in the Depopulated Villages

WANG Shihyun, TANIGUCHI Hirokazu,
OKUMOTO Yumiko, YOKOYAMA Syunsuke,
TOKUONO Tetsu

3) 商店の変容

縮減化により地域内に商店が一つしかないような状況は、不便な反面、客が一箇所に集まることで、商店は人と人の出会いの場として多様な役割を担う。

客は皆常連のために、「来店しないと心配になる」というように自然に見守りの機能が果たされている<20>。近所の一人暮らしのお年寄りにおすそ分けをする<21>、商店に客が集まり情報共有・交流の場になる<22>～<25>など、商業業務を超えた多様な地域・住民との関わりが生まれている。さらに、お年寄りと子供の世代間交流が行なわれ<26><27>、その付き合いは商店から運動会などにまで発展している<28>。近隣間で車に乗合わせて来店するなどの助け合いもみられる<29>。商店は、商機能を超えて、地域の身近で、買い物のついでに気軽に利用できる福祉・娯楽・情報機能がコンパクトに重層化し、過疎化によって孤立しがちな高齢者をはじめとする地域住民同士、あるいは住民と地域とをつなぐ拠点となっている。

4) 郵便局で行なわれる活動

郵便局でも局員による郵便業務を超えた活動や住民への働きかけが活発に行われている。郵便業務に沿って業務の種類・内容を拡張した活動と業務を超えた活動が見られる。局員が利用者に手紙の説明をしてあげる<31>、荷造りを手伝う<31>、パソコンで年賀状を作ってあげる<32>などである。一方、住民も郵便の用事がなくても郵便局に集まってきて局員や住民同士でおしゃべりをする<33><34><41><42>、局員がつくった野菜や小物をプレゼントする<35><36>、さらには、住民も育てた野菜を持参する<37><38>、郵便局の周りの草を刈る<39>ことで郵便局に「お返し」をするなど、業務を超えた活動・機能が

生まれ地域・住民と郵便局の間に親密な関係が生まれている。それが起点となって、郵便局が自然な見守りの機能も果たしている<40>。

業務から派生、発展するように郵便局は多様な役割を重層的に担い、局員による地域・住民との積極的な繋がりによって地域住民の利便性を高め、また交流・娯楽の場となっている。

3. まとめ

過疎化・高齢化にともない、住民が外出し、互いに出会う機会が減少し、弧住化が進む傾向にある。特に、交通の便の悪い中山間地では、その傾向が顕著である。これに対して 4 つの事例は、地域施設や地域サービスが通常業務を拡充した、乃至は超えた働きをすることで、住民に対するサービスが多様できめ細やかなものとなり、あわせて、住民同士や関係者との繋がりを新たに創出し活性化する場ともなっている。その結果、地域住民の近隣関係や日常の過ごし方がドラスティックに転換され、生活の質的向上をもたらしている。

その背景には、本来の業務に加えて、地域の縮減化に伴い、それまで他の施設・場所やサービスが担っていた働きが、存続している地域施設や地域サービスに漸次、重層的に寄せ集められること、さらに、それらの働きがきめ細やかに、即地的・即人的に機能するような「ゆとり（キャパシティ）」を伴っていることが窺われる。

地域の縮減化に伴って、日常生活に密着した施設やサービスの業務の量的縮減が引き起こされ、質的な転換や発展につながる。さらには、それが結果的には地域住民の生活の質的転換を促すという構図が「ホスピス型」の特徴といえる。

①	②	③	④
<p>児童と駐在の新たな関係</p> <p>■経緯 (1) (駐在さんと遊んでいなかった頃は)小学校でいっしょに友達だから(その子たちと)ずっと遊んでいた。でもほぼ転校した。(皆転校したから駐在所に行った。)</p> <p>■児童と出会うきっかけ (2) 僕も野球が大好きだったので、キャッチボールから始めて、野球好き同士だからだと思えます。(駐在)</p> <p>(3) 前の駐在さんの紹介で、引継ぎと言うか、子供が少ないので、遊んであげてと言うこと。(駐在)</p> <p>■児童と駐在さんの交流実態 (4) (学校終わったら)たまにゲームしてる。(でも)ほとんどここ(駐在所)に来てる。(児童)</p> <p>(5) 野球とかよくするので、キャッチボールとか、水泳も遊んでますね。(駐在)</p> <p>■児童と駐在さんの校外での交流 (6) (本当は出向いたり)は、たくさんないです。(行くきっかけは)ぼく休みだったんです。どこか行くか、冬休みだし(ついで)に(子供が)ラウンドワンに行く。(駐在)</p> <p>(7) (スポーツセンターに連れていってもらった)二人ラケット作ってもらった。(児童)</p> <p>■駐在さんの学校行事への参加 (8) (学習発表会などのイベントは)誘われたら、参加しますね。(駐在)</p> <p>(9) 学校行事あったら、よく来てもらうしね、お巡りさんも地域とつながりというのが、それに関わりも、子供たちにしてくれと思うんです。(校長)</p>	<p>保健師の取り組み</p> <p>■電話での救急対応 (10) 救急のときは、現場行って状態確認して、支所へ報告し病院探してもらおう。(保健師)</p> <p>■健康教室について (11) 【意図】リーダー的で若く引張ってくれその人を作る。(保健師)</p> <p>(12) 【住民の評価】完成するまでと思って楽しく出来る。<ここにいたら情報が入ってくる。></p> <p>■訪問計画 (13) 保健師の活動は地域の住民全部です。計画を立て優先順位を決め回っている。(保健師)</p> <p>■入院先からの電話 (14) 人間関係でも休みでも電話くれるし、それは人間関係の付き合いかなと思う。(保健師)</p> <p>■休日の病院訪問 (15) 気になったら訪問する。休みの時でも、どないしよるかなと思ったら、見に行く。家からでも。病院のぞきに行ったりとか。(保健師)</p> <p>■金銭管理の手伝い (16) 郵便局の統合で郵便局に行けないとかになっちゃうので、訪問に行ったときに、一緒に頼まれる事が多い。(保健師)</p> <p>■趣味の付合 (17) 誘ってくれた時はな、一緒に参加する。<行くついでに一緒にいたり、どっか遊びに行ったり、仲もいいかもね。(保健師)></p> <p>■自主的健康教室について (18) 【意図】(保健師のいる健康教室がない日に折り紙は家で一人でできるが、(みんな)で集まって色々話しながらする楽しさもある。(保健師)</p> <p>(19) 【住民の評価】遠慮のないもんが寄って、気のままだことしたら、やはり口も動いてくる。</p>	<p>商店の変容</p> <p>■見守り (20) 店していたら、この人も、あの人も元気していると分かる。この辺はみんな(単身高齢者)。うちは店だから、あの人が見えなくなると分かったら分かる。</p> <p>■近所付き合い (21) 前の所のおばあちゃんも一人暮らしでしたから、うちでいろいろなもの作ったらあげたりとか。</p> <p>■店を拠点に開かれる集會 (22) ここに集まってくるのは寄り合いじゃないが、交流の場かな。店がここしかないから、ここ来てよく話す。寄り合いみたいになってくる。ここで何か買うのに、色々持ってきてくれる。</p> <p>■情報の共有について (24) みんなサロンとかの繋がりや病院にいらっしゃるなどの情報が入ってくる。</p> <p>(25) ここに来てくれるのは違う区の人も来てくれる。交流というのかな。店なくなると。</p> <p>■世代間の交流 (26) 子供も自転車乗ってお菓子、アイス、クリーム買いに来たり。ここで話して、子供が来るのも楽しみだし。</p> <p>(27) 子供も来るし、村の人みんな寄るから、ここ来たなら誰かに会える。アイスとかジュースとか買って行くから、ここにいる人たちとも話さるだろう。そうしたら、運動会とかも見に行こうかってなる。</p> <p>■乗り合わせ (29) 年寄りの人は乗り合わせて来てくれたり。</p>	<p>郵便局で行われる活動</p> <p>(龍神村)</p> <p>■乗り合わせ (30) 車で乗せてきてあげてはあるみたい。いまから郵便局行くし、お返しも声をかける。</p> <p>■郵便業務に沿った活動 (31) 手紙が分からないから、読んで説明してとか、この書類書いてとか、そういうものもある。小包送る時、荷造ってあげて、箱がないと行って、私が箱をいっぱいもってきてあそこ置いてる。この上のおばあちゃんは、荷物送りたいと言ってるので、店番しておいて、と行って、それで、持ってきてあげて。</p> <p>(32) 私が年賀状をパソコンで作ってここに飾っておくと、ねえちゃん、これ売ってるんか。売る気はなかったけど、好きなのを持ってきて。</p> <p>■郵便業務を超えた活動 (33) 郵便に何も用事がなくても来てくれて何か持って来てくれたり。そこベンチに3人くらいは座れてそこで私と話すか他のお客さんと話すか。(郵便局局員)</p> <p>(34) 家に行くよりここに誰かいるからその人と少し世間話して帰る。</p> <p>(35) その小さな花畑にゴーヤ植えて私(郵便局局員)食べないから、採って食べていいたら近所の人(採って食べたみたい)。</p> <p>(36) ここにある瓜棚枝入れは折り紙で作って置いた。持ってきて置いたら、好評だった。(郵便局局員)</p> <p>■お返し (37) おざおざ作った野菜をもってきてくれる。</p> <p>(38) これも売っていったら近所の人(採って来たみたい)と言って、持って来てくれたり。自分のお金で買った種なのに。</p> <p>(39) 夏は近所の人がこの周り、草刈ってくれる。</p> <p>■見守り (40) あのおばあちゃん最近来なかつたり、あの人が見えなくなると心配になる。</p> <p>■【上北山村】 (41) 私は郵便局に遊びに行って、あそこのおうちに行っておしゃべりするのが日課。</p> <p>(42) 郵便局は用事がなくても行く。</p>

- * 大阪市立大学工学研究科前期博士課程
- ** Master Course, Graduate School of Engineering, Osaka City University
- ** コスモスイニシア
- ** COSMOS INITIA Co.,Ltd.
- *** 大阪市立大学工学研究科 教授・工博
- *** Prof., Graduate School of Engineering, Osaka City University, Dr., Eng
- **** 大阪市立大学工学研究科 准教授・工博
- **** Assoc. Prof., Graduate School of Engineering, Osaka City University, Dr., Eng